

主体的な学びを促す録画を利用した振り返りの工夫

岩代中学校 増子 美保

I 単元構成の工夫

本単元は、朝美とメグが将来について話し合ったり、朝美が自分の職業体験のレポートをまとめたりして、これからの社会や自分の将来像について考えを深めるという設定である。メグがインターネットで見つけたAIに関する記事から始まり、将来についてメグと朝美との対話や朝美の職業体験レポートなどが紹介されている。様々な職業分野における活用が検討されているAIによる社会変化について考え、朝美の職業体験レポート内容を共有することで、自分の将来や夢について考えを深めていく。単元前半では言語材料の習得を、単元後半では「伝え合う」「対話する」「報告する」「発表する」などの言語活動を展開し、表現力の育成を図りたい。

生徒の実態

英語学習には前向きに取り組み、男女分け隔てなくコミュニケーション活動を楽しむ。しかし、基本的な語彙力や文法の知識が不足している生徒が一定数いるため、目標とした活動が成り立たない場面も見られるため、個別の活動よりペアや小集団学習がより適していると考えられる。また、間違いを恐れて発言を控える傾向があるため、準備時間を十分確保された活動を好む。

単元を通して育成したい子どもの姿

習得した言語材料を使って、自分の将来像や夢について述べる際相手意識をもって、よりよく伝えようとする自分の姿をセルフモニタリングし、他者との対話を通して修正・付加・発展させ、完成まで工夫を積み重ねる姿

「単元構成の工夫」における ○成果と●課題


○前半に習得した学習内容を後半で活用させる単元構成としたため、後半から積極的に既習事項を使い、自分で考えた内容を相手に分かるように表現していた。また、タブレットを使うことで発音を確認しながら発表することができ、以前にも増して活発な発表ができた。
●単元前半で習得した学習内容を単元後半で活用させ「思考・判断・表現」させる指導計画であるが、その活用場面で躓いた生徒がもう一度習得場面に戻って振り返る時間を設定できるとよい。

学習計画（総時数 8 時間）

時	場面	学習活動（夢中になって学んでいる姿）	資質・能力
1	見通す 習得する	自分がよく行く場所について「…するために、そこに行きます。」という文章を数多く作成し、相互にその場所を言い当てる。	動作や行為について、それをする目的を理解したり伝えたりすることができる。（知・主）
2	習得する	自分がうれしいと感じることを想像し、「…してうれしかったです。」のような文章を数多く書く。	うれしい等の気持ちとその原因を理解したり伝えたりすることができる。（知・主）
3 (本時)	考える 対話する	将来の夢や夢実現のためにしていることを、相手に自分のことをよりよく分かってもらえるように、ペアになって伝え合う。	お互いの夢や夢実現のためにしていることについて情報を整理して伝え合うことができる。（知・主）
4 ～ 5	考える	自分が興味を持っていることについて述べ、どのようなことをすればそれが自分の強みになるか、他の生徒からアドバイスをもらい、それを参考に英語で書く。	仕事内容についての文章の概要を捉え、情報を加えて説明することができる。（思・主）
6 ～ 7	振り返る 考える	コンピュータやAIを活用するうえで、自分自身が重要だと思うことを英語にし、発表する。発表を聞く生徒は、よりよく伝えていることを賞賛する。	今後の社会を想像し、自分の将来像等について考え、すべきことについて伝えることができる。（知・主）
8	考える	職業体験に行った人のレポートを読んで職業体験の内容をペアで話し合い、グループで発表する。	自分の体験を伝えるために、事実や意見を整理して、尋ね合ったり伝えたりすることができる。（知・主）

II コーディネートの工夫

<本時のねらい> 将来の夢についてのインタビュー活動を通して、お互いの夢や夢実現のためにしていることなどについて情報を整理して、相手意識をもって伝える。

学習活動・内容 (T主な発問C児童の反応)	<コーディネートの実際>	<コーディネートの改善>
<p>1 本時の学習課題を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法事項 (to 不定詞) の確認 本時の課題把握 <p>「あなたの夢は何ですか」というテレビ番組のインタビューで、こういったやりとりをすればよいだろう？</p> <p>2 課題解決の見通しを持つ。</p>	<p>3 課題に取り組む。</p> <p>(1) 2人ペアでインタビューを考える。 T: インタビュー内容を考えてください。 C: その仕事に就いたきっかけは何ですかって聞きたいんですが、きっかけって何て言うんですか？ C: (タブレットで確認して) いっぱいあるけど、どれだろう？ C: 先生、きっかけって start.impetus.cue motive のうちどれを使えばいいんですか？</p> <p>番組を見る対象(相手)を設定していなかったために、難しい言葉や敬語を調べ始めた。</p> 	<p>3 課題に取り組む。</p> <p>(1) 2人ペアでインタビューを考える。 T: 30秒でインタビュー内容を考えてください。番組はお昼の放送で流すので、1年生にも分かるような表現を使うように心がけましょう。 C: きっかけってどう言えばいい？ C: どうしてなりたいたいんですかって聞けばいいじゃない？ C: それなら、Why do you want to become だったらどう？</p> <p>場面設定を明確にすることにより、相手意識を働かせることができる。</p>
<p>3 課題に取り組む。</p> <p>(1) 2人ペアでインタビュー番組を制作する。 T: インタビューする立場の人はどのようにインタビューしますか。インタビューされる立場の人はどのように答えますか。ペアで考えよう。 (2) やりとりをタブレットに録画する。 (3) 録画したものを確認する。</p>	<p>C: 先生、まだできていません。 T: とりあえず、考えたところまでやってみよう。はじめましょう。 C: What's your dream? C: My dream is I want to be MR.ん？おかしくない？ My dream is MR. C: え？終わり？短いよね？</p> <p>初めから英語で考えるのは難易度が高く、完成させるには時間を要する。</p>	<p>(2) やり取りをタブレットに録画する。 T: 日本語でもいいので会話の流れを作りましょう。</p> <p>インタビューの流れだけでも考えておくことで見通しを持たせて次の活動に入る。</p>
<p>4 課題を解決する。</p> <p>(1) 各ペアのインタビューがどんな内容になったか全体で確認する。 C: うまく質問が繋がらなかった。 T: どうしたらよいだろう？ C: 相づちを打ったり、つなぎ言葉を使う。 T: 始まりと終わりはどのように始めたら良いかな？</p>	<p>5 本時を振り返る。 T: 今日の授業を振り返ります。授業を通して学んだことや考えたことを自己評価カードに記入しましょう。</p>	<p>5 本時を振り返る。 T: 今日の授業を振り返ります。今日の活動で自分がよくできたと思うところはどこですか？振り返りシートに具体的に書いてください。何がきっかけでできるようになりましたか？他の場面でも使えそうな学びはありましたか？</p> <p>振り返るときは、教師が机間巡視し、のびているような子の活動を見取って、それを全体に発表させ、認め合うことでプライドを持って次の学習意欲を持たせる。</p>
<p>5 本時を振り返る。</p> <p>友達の表現を見て自分の活動に取り込めるような表現にはどのようなものがありましたか？</p>		

「コーディネートの工夫」における ○成果と●課題
 ○まず表現してみて、それをセルフモニタリングすることで、さらに良いものに変えていこうと意欲的に活動する姿が見られた。
 ●振り返りの時間は、何をどう振り返れば生徒たちが伸びていくのかという視点をもって仕組んでいく必要がある。